

# 人はそれぞれに大変です！

万代 栄嗣



ギリスのハリー王子が新聞のインタビューで、「イギリスで国王や女王になりたい人がいる？ 私はそう思わない」と語り、王室の生活ぶりの窮屈さを吐露しました。ハリー王子と言えば、チャールズ皇太子の次男で、母親はダイアナ元皇太子妃。半ば衆人環視の中での生活で、時にはパパラッチに追い掛け回され、マスコミの関心にさらされる毎日を嘆いても仕方ないのかもしれない。

しかし、日々のちょっとした支払いに四苦八苦し、小さな教会一つ建て上げるにしてもハラハラし通しで、伝道の可能性にも目先のことを見ると、いろいろ限界を感じてしまう庶民の私からすれば、一度、その王子様という立場で、ありとあらゆる人々とコネを作ってみたい、途方もない資産の運用益で、生活のことなどに気にせず、どんどん伝道の手を打っていけるのは、多少人々から言われてもやりがいがあるのでは…と無責任に感じてしまうものなのです。やはり、つねに“隣の芝生は青い”ということなのでしょう。

実際、今の日本では、誰一人としてのんびり、のほほん、楽に生きていけるという人はいません。私たち人間は、その罪の性質から、欲深く、自分の幸せのためには、あれもこれも！と手を出す内に、きりが無い状態に陥り、常に多くのことが心配にならざるを得ない状況になってしまいます。とにかく忙しく、心を休める間もないのです。

そんな中で、自分が世界で一番不幸で、誰にも相手にしてもらえず、孤独である、と思いつく前に、私たちは常に神様と共に歩む者であることを思い起こしたいのです。一人一人に個性を与えられた主なる神様は、私たち一人一人の問題や悩みに対しても、一人一人にぴったりの救いの道を備えていてくださいます。たとえあなたが苦しみの中にいたとしても、人を見て羨んだり、自分を惨めに感じるのではなく、神様を見上げて、あなたの存在を喜び、共に歩み導いてくださる神様のおられることを感謝すべきです。

今の社会では誰もがストレスに晒され、仕事のこと、家族のこと、お金のこと…イライラしてもおかしくない状況がすぐそこにあります。どこかの国会議員のように、連日、金切り声を挙げて周囲に当たり散らし、4年間で秘書を100人も替え、拳句の果てに、その暴言暴挙が明らかにされ、人々からの信頼を無駄にするような愚行に陥ることなく、私たちはまず讚美しましょう。神様に祈り、今日も私たちと共にいてくださることを感謝しましょう。あなたが独りぼっちでなく、神様と共に歩んでいるなら、道は必ず拓けます。

## recommend おすすめ情報

おすすめ



### 片目の王

■ビル・ウィルソン著／万代栄嗣訳  
ウィズダム出版(1500円)

ごく普通の人々が、偉大なことを成し遂げるための9つのポイントを伝授。現状を打開する方法を見出せます。

プレゼントに



### この子だれの子

■ビル・ウィルソン著／万代栄嗣訳  
いのちのことば社(1500円)

ビル・ウィルソン師の生い立ちから、働きの原動力、現場の状況を知ることのできる感動の1冊。